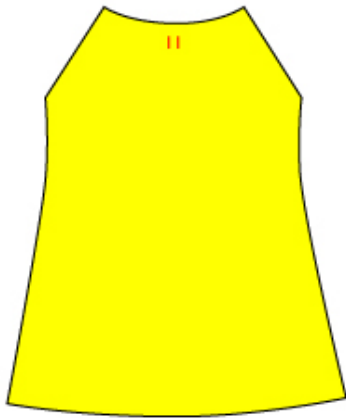


布の印のつけ方や
接着芯の貼り方は
縫う前の下準備で
詳しく説明しているよ
まだ見たことがない
人は先に見てね!

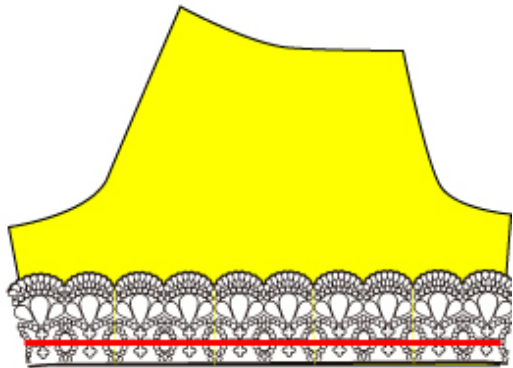
→ 縫う前の下準備

■ 表 ■ 裏

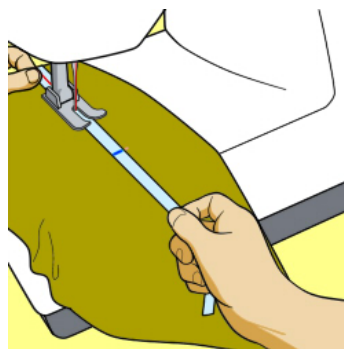
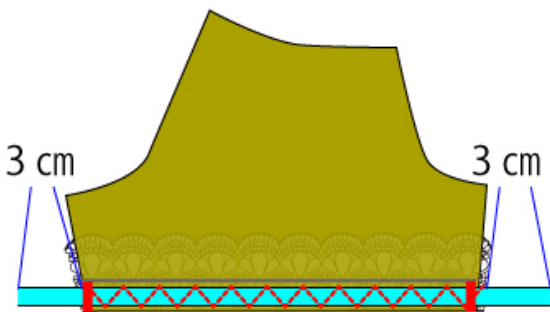
裁断した全てのパーツの端をほつれ止めをしてください。
型紙に指定された場所の裏に接着芯を貼ってください。
特別に指示がなければ、洋裁工房で扱っているドールの型紙の縫い代は7mmです。



前身頃にリボンを通すための穴を開けてください。
ほつれ止め剤を塗ってからカッターで切って穴を開けてください。



袖とレースを表側同士が内側になるように重ねて縫ってください。

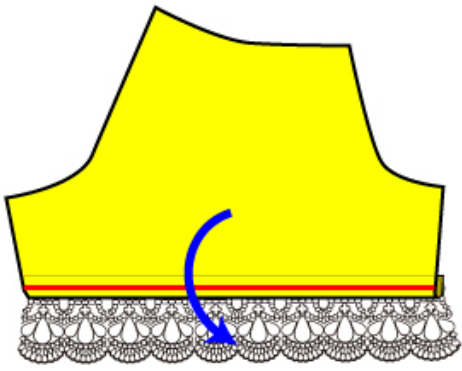


裏返して、裏の縫い代にゴムを伸ばしながら縫い付けます。

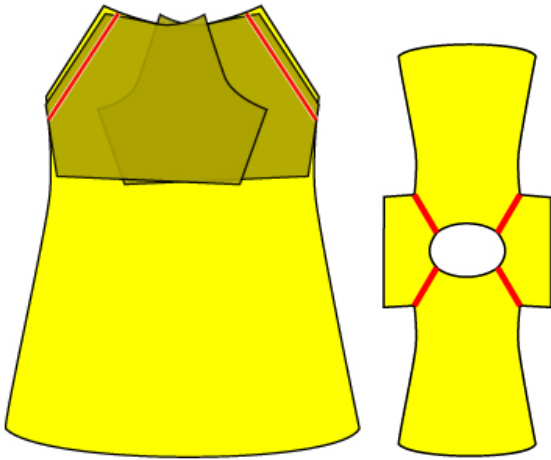
ゴムの長さはゴムの強さによりますが11cm~16cmくらいに切ってください。
ギリギリだと縫いにくくなるので3cmほどはみ出すように両端を縫ってください。
両端を縫った後伸ばしながら縫ってください。



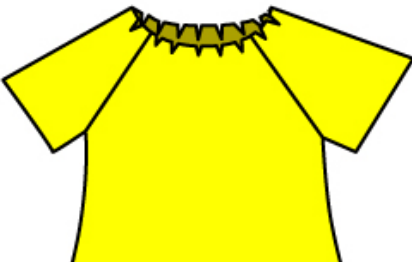
縫い付けるときは直線でもいいですが、ジグザグで縫い付けるとより安定します。



縫い代を裏へ折って伸ばしながら縫ってください。
はみ出したゴムを切ってください。



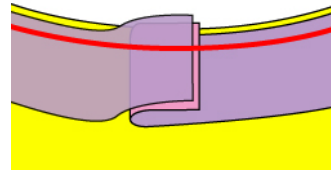
身頃とそでを表側同士が内側になるように重ねて縫ってください。



引きつり防止のためえり首の縫い代より内側に切込みを入れてください。



えりとバイアステープを表側同士が内側になるように重ねて縫ってください。





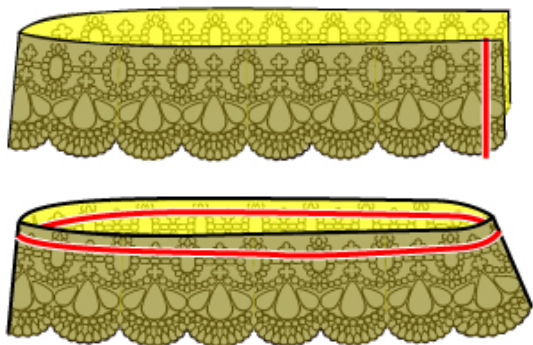
バイアステープを裏側に返してください。
バイアステープの端ギリギリを縫ってください。
ここにリボンが通ります。



前後飲み頃を表同士が内側になるように重ねてください。、そでの下と脇を続けて縫ってください。



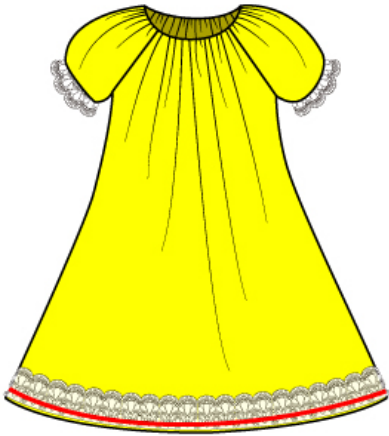
すそに何もつけない場合は縫い代を内側に折って縫ってください。



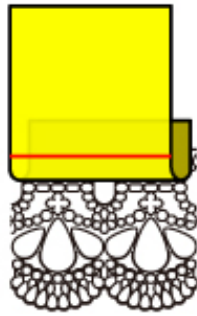
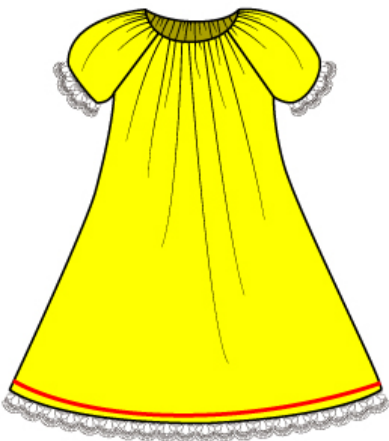
レースをつける場合

レースの表側が内側になるように折って端を縫ってください。
ギャザーを寄せたい場合は横を縫った後にギャザーを縫ってください。

ギャザーの縫い方



表にした身頃の上に裏を上にしたレースやフリルを重ねて縫ってください。



縫い代を身頃側に折ってください。
縫い目から2~3mmのところを縫ってください。
リボンを通して完成です。

必要な材料

表布、お好みでレースやフリル、生地にあった色の糸、リボン

おすすめの生地

おす巢の生地

・シーチング

やわらかくて、薄手ですので、縫いやすく価格も手ごろで色、柄も多い生地です。ただ、しわが入りやすい生地です

・綿ブロード

シーチングに比べ少し張りがあり、気持ちシワが入りにくいです。薄く扱いやすい生地で、色、柄も多く手に入りやすい素材ですよ。

・ポリエステルアムンゼン

柔らかくドレープ感のあるデザインに向いています。

化繊なので軽く、しわが入りにくいです。

軽いです。

ややテロテロしているので裁断のとき少しずれやすいです。